京城日報 朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社 京城日報社

新嘉坡攻略けふ一周年！
あの感激を忘るな
一億、米英撃滅の進軍

英國が東亞侵略の牙城として難攻不落を誇つたシンガポール要塞陥るの日—感激の二月十五日は廻り來つた、想ひ起す昨年の今日大御稜威の下、精鋭なる皇軍は泥濘を踏みジャングルを潜り熾烈な敵砲火を冒して怒濤の如く敵陣に殺到、つひに敵をして白旗を掲げせしめたのであつた、その類ひなき忠勇と神速果敢は世界を驚倒させ、青史に燦然たる一頁を飾つたのである、いまや皇軍は北はアリューシャンから南方遠くソロモンにまで戰果を擴大して漸次敵を制壓しつゝある、進め一億—飽くなき敵米英を完膚なきまでに撃摧して日章旗の下に屈伏せしめ、世界永遠の平和を招來するまでは、斷じて矛を收めることは出來ない、しかしながら敵米英のかゝる諸戰の慘敗も、こゝ一年を經過してやうやく立直りをみせつゝある、豐富な物資と尨大なる資源とまた人的資源とを擁し弱小國を與國に乗らねて、戰力強化を圖りつゝ他面思想謀略戰をもつて積極的攻勢を企圖しつゝある、この點につき東條首相は議會演説において『今年こそ決戰の年だ』と國民を激勵してゐる、國民はこのシンガポール陥落記念日を深く肝に銘じて最後の完勝まで戰ひ抜かなければならない、そのためには敵米英に劣らぬだけの戰爭物資の増産とそれに必要なる貯蓄の増強とさらに日常生活を戰場生活にまで徹して『銃後も戰場なり』を身をもつて具現せねばならぬ、この記念日、一億國民は齊しく敬虔な心を持つてマライ戰場に華と散つた幾多の英靈に感謝の誠を捧げよう

蒋系匪を潰滅

【濟南十三日同盟】わが精鋭部隊は山東省南部地區に擾亂運動を續ける蒋系匪約二千を費縣南方二十五キロの山中に包圍殲滅中であつたが、去る十一日の紀元の佳節を期し一齊に猛攻を開始、目下戰果擴大中である

今や全南方の首都
昭南、歡喜の新生譜

【昭南十四日同盟】英國東亞侵略の牙城シンガポール陥ちてよりこゝに一周年、いま解放と建設の喜びに湧き立つ現地にこの輝かしい一周年記念日を迎へる、昨年の十五日我猛攻のまへに戰意全く喪失したシンガポールの敵十萬は白旗を掲げてわが軍門に降り搾取と掠奪によつて久しく東亞の天地を蝕み來つた英國の魔手はこの日を最後として永遠にマラッカ海峽以西に放逐されたのである、おもへば激烈な戰鬪であつた、緒戰とゝもに敢行されたコタバル、シンゴラに決死的敵前上陸をなし、ついでマライ半島一千百キロのゴム林とジャングルを分けて怒濤の如く進撃する南下作戰、ジョホール水道を血で染めた敵前渡過作戰、最後に武勲燦然と輝くブキテマ高地の戰鬪など世界戰史を色彩る幾多の激戰ののちに遂に贏ち得られた勝利であつた、この偉大なる激戰によつて今次大東亞戰爭における決定的勝利への第一の礎石は築かれ、シンガポールの失陥によつて英國は單に東亞の地より驅逐されたのみならず全世界戰局における敗北の運命へと一氣に落ち込んで行つたのである、しかしこの輝かしい勝利の蔭に幾多の尊き犠牲が秘められてゐることを忘れてはならない、如何に多くの勇士達が戰友の腕に抱かれ尊い遺骨と化してシンガポールに入城したことか

かくのごとき激戰のゝちシンガポールは昭南島と改められ、わが南進基地として更生したのである、これにつゞく復興と建設の一ケ年もまた戰線の將兵にも劣らぬ涙ぐましい努力の連續であつた

再建の第一歩はまづ道路に埋められた地雷を掘りかへし燃え盛る石油タンクの火を消すことであつた、戰爭に怯えた八十萬住民の生活を保障し民心を安定せしめ治安の確立をはかることも占領後の急務であつた、水道、電氣、瓦斯、港灣施設などの復舊も急がねばならなかつた、これらのあらゆるものは物凄い速度で進捗を見せた、軍政當局もまたこれに協力するものすべてがあげて神のごとき能力を發揮したのであつた

昭南はいま全南方の事實上の首都としてまた最大要港として戰前に優る活氣を帶び新生の一途を驀進しつゝある今日の輝く一周年記念日を迎へるにあたり昭南在留各部隊將兵および五千人を超える昭南在留邦人をはじめ六十萬華僑、十一萬マライ人、七萬印度人などの現地民も喜悦に滿ちてマライ新生の日を心から祝し、日章旗とアーチに美しく飾り盛られた市内には飾色と喜びが滿ち溢れてゐる

建設、着々と進捗
大達昭南市長談話

【昭南十四日同盟】シンガポール陥落一周年記念日たる十五日を迎へるに當り大達昭南特別市長は左の如き所感を述べた

昨年二月マライ半島一千百キロを疾風の如く南下した皇軍がシンガポールを攻略してより本日はまさに一年目に當る、この日こそ世界歴史に燦然たるアジヤの解放を印したる日であつて、英國の搾取と壓迫を被つた東亞の諸民族は東亞の大理念のもとに解放されたのである、當地は過去において深刻なる戰時の經驗を持たず、かつ英の搾取的政策よりして何ら自給の機構を持つてゐなかつたため民生においては相當の困難を伴ふことを免かれないのであるが、軍政當局は鋭意自給自足體制の整備に努力してをり、市民も亦た英の桎梏より解放され、新たに生れたわが兄弟としてその責任と義務とを自覺し、輝かしき未來を建設するため現在の生活苦を克服し欣然わが施策に協力邁進しつゝある現狀である

獨潛艦の脅威増大
スタークも遂に悲鳴

【上海特電十四日發】歐洲水域米艦隊育ての親デミッツ提督の獨潛水艦隊司令長官就任は獨潛水艦隊の活躍が一段と強化される前提として各方面に著るしく注目されてゐるが偶然同提督就任以來相つぐ大戰果が次から次へと報ぜられ米英その他の恐怖を一層増大せしめてゐる、スエーデン紙ロンドン特派員の報道によると數日前ロンドンに歸還して歐洲水域アメリカ海軍總司令官スタークは新聞記者會見で『獨潛水艦に對する最も困難なる戰鬪は依然としてわれらの前途に横たはつてゐる』と警告をした、イギリス紙の報道によると昨年の反樞軸國側船舶の撃沈噸數は一ケ月平均百萬噸に達してゐたが米國海軍事委員會委員長ランドが米下院外交委員會で發表したところによると昨年一月から十月末までの米國の造船所で修理を終つた反樞軸國船舶は一四八二隻に餘り一隻五千トン平均とすればこの損害を受けたものゝみでも十ケ月間實に七百四十萬トン以上の計算になる、英國週刊經濟紙エコノミストはその最近號において今日反樞軸國が假に世界の全船腹を所持してゐるとしても敵潜水艦の脅威に對し何ら決定的の對策を取り得ないといふ奇妙なる地位にある、敵潜水艦による脅威のクライマックスはまだ到達してゐないことを忘れてはならない、英國を完全に孤立せしめんとする敵の意圖はまだ完全に失敗したとはいへず、從つてわが國が海上に於て現在の戰鬪に敗れる可能性は大いに存在する、この反面獨潜水艦が、その抵抗を増大しつゝある事實はこれを認めなければならん、反樞軸國側船腹の正確なる喪失噸數は一般大衆には知られてゐないが、しかし大衆はこれを感じてをりわが國を脅かす危險が日にくくと警告を與へてゐる

增大しつゝあることを感じてゐる、獨海軍が戰場に動員しつゝある潜水艦隊は、七ツの海の反樞軸國側船腹に對して益々不安全ならしめてゐる

獨、更に避退戰術
ソ聯軍、三方向に目標

【ベルリン特電十四日發】獨軍司令部は十三日ドイツ軍の西コーカサスの要衝クラスノダール撤退を發表した、コーカサスで殘る唯一の獨戰地は黒海に臨むノボロシースク軍港からタマン半島に至る地區で、海上より獨軍の背後を衝いて上陸せんとするソ聯軍とこれを撃退せんとする獨軍との間に數日來凄慘な攻防戰が續けられてゐる、またロストフからクルスクにかけてのドネツ戰線ではここ數日來ソ聯軍の攻勢が弱化した如くに見えたが、十二日からソ聯軍は新しい勢力を擁して猛烈なる攻撃を開始したことを獨側では認めてゐる

この方面のソ聯軍攻勢の主力は三つに分れロストフを包圍することにより『第二のスターリングラード』戰を企圖する部隊とその北方クラマトールスカヤ、ロドバを經てウクライナ深くドニエプル、ペトフスクを目指す部隊と、ハリコフ市の北および東から重壓を加へこれを同じく包圍せんとする部隊に大別される獨軍は各所において抵抗反撃と避後退戰術を使ひ分けてをるが、全體的に見てソ聯の優勢なる兵力消耗のため更に根本且廣汎なる作戰上の軍隊移動をもつて敵の冬季攻勢を切抜けんとする構勢である

洪國、單獨講和說を否定

【ストックホルム特電十三日發】ブダペスト來電によれば最近ロンドンタイムス紙は法王使節がハンガリー公使が法王廳に對しハンガリーは單獨和平を締結する用意ありと言明したと報じてをるが、ハンガリー當局筋は十三日これを事實無根なりとして否定した、なほローマ來電によれば法王廳筋もこれを否定した

ル大統領、軍首腦と協議

【ブエノスアイレス十三日同盟】ワシントン來電—アメリカ大統領ルーズベルトは十三日ホワイトハウスに陸軍參謀總長マーシャル、作戰部長キング、大統領附參謀長リーイの陸海軍首腦部を招致會談を行つたが、カサブランカ會談に伴ふ反樞軸側の新作戰を協議したものと見られる

ル米大統領の無智

【リスボン十三日同盟】十二日のルーズベルト放送演説に關し獨紙はつぎの見解を表明した

ルーズベルトは樞軸軍を北阿から驅逐して年内に歐洲大陸進攻を實現すると大見得を切りながらチュニジヤの樞軸陣地が堅固なことを認めてゐるのは矛盾も甚しい、歐洲侵攻を夢見る如きは歐洲沿岸の防備に對する無智を表明するものに他ならぬ

ソ聯軍事使節訪問

【リスボン十三日同盟】ロイター電が南米情報として傳へるところによると、ソ聯軍事使節團の一行が、十三日空路ブラジルのナタールに到着、さらに何れかに向つたといはれる、使節團はチモシエンコ元帥閣下の四將軍および一提督からなつてゐるといふ

在北京公館長會議

【北京十四日同盟】國府參戰後の新情勢に對應するため在北京日本大使館では十四日より大使館に北支公館長會議を開催、陸海軍側より西村、片岡両部隊長、大使館側鹽澤公使以下各部長官、公館長側北澤北京、大田天津各總領事出席、まづ鹽澤公使より國民政府參戰後の新情勢に即應する帝國政府の方針ならびにこれに關する現地邦人心構へについて詳細に指示し、ついで各地公館長より地方における在留邦人の總力動員國民組織および地方國民機構の強化などの諸問題についてそれぞれ報告を行つた

守島駐ソ公使歸國

【ハルビン十四日同盟】守島駐ソ公使は十四日午後四時二十五分ハルビン着、同夜は大和ホテルに一泊、十五日午後九時十五分發列車で新京經由歸國するはず

ラテダン(緬印國境)爆撃
英軍陣地に巨彈の雨

【リスボン十三日同盟】ニューデリー來電によれば日本航空部隊は十二日緬印國境ラテダンの英軍陣地を二回にわたり爆撃したといはれる

ビルマ反攻に狂奔

【上海特電十四日發】重慶側の宣傳機關が報ずる米英側の所謂『對日反攻作戰』によれば、笑止にも先づビルマ奪回により雲南、貴州両省の確保を第一としこれに次いでその戰力を廣西、廣東兩省に進展せしめて福建省に迫り、米英の西南太平洋反攻作戰に呼應して支那大陸において對日蠢動飛行基地を設定せんとするものといはれるが、印緬國境調停會議の一應の成功と共に今や重慶は雲南地區に十戰區を新設、漸次西南方面に移動しつゝあり、在支米空軍も飛行機約百機を印度に移駐せしめたといはれ、米英側の今春を期して再建せんと意圖しつゝある東亞第三戰線の動向は注目されてゐる

米、英兩司令官會見か

【上海特電十四日發】バンコック來電によれば、英印度軍司令官ウエーベルは目下ニューデリーにゐない模様で、最近ロンドン方面では西南太平洋反樞軸軍司令官マッカーサーと會見のため某地に赴いた旨示唆してゐる

敵機四臺を撃墜
アキヤブ、蘭貢に邀撃

【○○基地十四日同盟】十三日午後敵戰鬪機ハリケーン十數機がアキヤブに來襲、わが戰鬪機隊は勇敢にこれを邀撃ハリケーン三機を確實に撃墜した、また同日午後偵察のためラングーン上空に飛來した敵中型機一機を邀へたわが戰鬪機隊はこれと空中戰を展開、ラングーン西北卅キロの地點で撃墜した

〝シンガポール〟崩るゝの日
在鮮英俘虜にきく

大東亞の黎明—英國が東亞侵略の牙城として世界に誇つたシンガポールが陥落して一周年、大いなる歴史の日、昭和十七年二月十五日午後七時、わが山下將軍と敵將パーシバルと會見〝イエス〟か〝ノー〟か斷乎たる山下將軍の一聲にパーシバルが顫へる手で無條件降伏に署名したのが同五十分ジャングルを突破し泥濘を踏み越え難攻不落を誇るシンガポール攻略戰はこゝに終戰したのだ、この日〝祝シンガポール陥落〟の聲は銃後を埋め祝賀一色に塗りつぶされたのだ、あれから一年、この戰鬪に參加した英軍の將兵は俘虜として皇軍の手にあり、京城にもその一部が收容されてゐる、これら俘虜達の感慨も深いものがあらう、この記念すべき日を前に記者は特に許されて朝鮮俘虜收容所を訪ねローヤル聯隊第二大隊エリントン中佐以下五名と座談會を開いた、之は英軍俘虜が語る退却また退却の〝シンガポール崩るゝの日〟の想出話である

問 マレー半島の防備には何時から就いたか、またシンガポールは何時までもちこたへると思つてゐたか

エリントン中佐 自分の大隊は一九三八年四月六日上海からシンガポールに移駐したのである、シンガポールは永久に持ちこたへると思つてゐた

問 英軍は下士官でも小隊長になれるのか

ストレンジ軍曹 普通は將校であるが自分の隊はマレーに進んだ時小隊長が負傷したので自分が代つたわけだ

問 何處の戰鬪で俘虜になつたか

ペイク大尉 自分達は捕へられたのではない、パーシバル司令官から武器を捨てるやうにいはれたのだ

問 その時は何處に居たか

ペイク大尉 アレキサンダー地區のギルマン兵營にゐた

問 日本軍との戰鬪經過はどうか

エリントン中佐 二月八九日に日本軍が東北と西北の二方面から攻撃してきたのであるが、自分達は日本軍が何處から攻撃してくるか判らなかつた、戰前西海岸には防禦設備はなかつたのであり、此處で日本軍に對抗したのは濠洲兵と印度兵であり、二日後にはブキテマ高地まで押されてしまつたのである

自分等の聯隊は二月十日ブラクからブキテマへ行くやう命令されわが大隊は十二日夜中までブキテマ附近で防備し持ちこたへてゐた、十二日になつてから日本の兵隊がジャングルを突破し自分の隊の後方に廻つてくるのを見受けた、これらの日本の兵隊は勇敢な兵隊であつた、十三日、ボナビスターまで退却するやうに命令を受けその夜アレキサンダーの街道へ後退した、この時日本軍はブキテマ街道を戰車と歩兵で猛襲し來つた、十四、五の兩日わが大隊は日本軍の砲兵と空中から攻撃を受けながらギルマン兵營を防禦したのであるが、この戰鬪が最も近接して戰つたものであつた、日本軍の猛烈なる攻撃には全く驚歎した、白兵戰はライトン少佐(第二中隊)の隊とモファット准尉(第三中隊附)とが十四日の夕方まで行つたのであるが、日本の兵隊は銃劍で突き込んでくるのに對しわが隊は機關銃で對抗し、いくら撃つても日本の兵隊は小さな鬼のやうにつぎからつぎと突き込んでくる、これには如何に精巧な機關銃でも駄目だつた、日本の兵隊は人間ではないやうな氣持がした、この戰でわが第二、三中隊は僅か數名しか殘さずやられてしまつた、自分達の大隊の左翼にマレー人の大隊が居た、これに日本軍が突入し左翼の海に近い方を日本軍が押へたのである、仕方なく自分は大隊長として次の防備線はワシントン丘に新陣地を占めるやう命令した、これは十五日の午後二時から三時の間であつた、夜八時パーシバル將軍から『全員降伏せよ』と命令がきた、翌日、日本軍の將校がきてローヤル聯隊は勇敢であつたと讃へてゐた

ペイク大尉 一月十四日、セーガーマットで日本軍と遭遇したのが最初であり、戰鬪を受けたが戰鬪はなく退却した、この時對時してゐた日本軍はゴム林とジャングルを見事に突破し海を通つてわが軍の後に廻つてきたのだ

エリントン中佐 ムーアとホンペンの間に當るペーアンの戰鬪には日本の戰車七台が現はれ、歩兵が前進してきた

ライトン少佐 普通の鐵條網と對戰車地雷で作つた戰車障碍を日本の戰車が突破してきたが、交戰はなく、その日のうちに退却した

モファット准尉 日本軍の行動は全く豫想出來ず、後に廻つてくるので、いつも退却してゐた、日本軍は機動作戰が實に上手だ

エリントン中佐 シンガポールに退却するまで四〇％の兵を失つてゐた、廿六日トラックでシンガポールに到着し補充隊として裝備を整へてゐた

モファット准尉 ジョホールを渡るときは日本軍の姿はまだ見えなかつた

問 シンガポール陥落の時の氣持はどうだつたか

エリントン中佐 降伏の命令を受けたときはビックリした、自分らはこんなことを豫期してはゐなかつた、自分らは全力を盡して戰つてきたが、命令を受けたから仕方がなかつたのだ

問 シンガポールに日本軍が上陸した報を聽いた時の氣持は

エリントン中佐 その時は[illegible]してゐた

ペイク大尉 自分達は全部殺されるまで戰ふ意志をもつてゐたが、命令が來たから仕方がない

問 では日本軍はジャングルを

エリントン中佐 日本軍はジャングル突破などの機動作戰が上手で意表外な所から攻撃してくる

ストレンジ軍曹 自分はギルマン兵營で戰鬪中小銃彈が手先に當り負傷した、その時の記念に今でもその彈をもつてゐる

は數的にも優勢であり空中からの攻撃が上手で自分等は陣地を守るだけだつた

問 シンガポール陥落の原因は何處にあると思ふか

エリントン中佐 北の方からの攻撃に對する設備は充分でなかつた、シンガポールは南の海に面して防備してゐたのである、また空軍が非常に貧弱であつた、降伏の直接の原因は〝住民の死傷と街を壊さぬことと日本軍が水道を占領してゐた〟ことであり、これはパーシバル將軍の言でもある

アンカース兵長 日本軍は突き泥濘を冒し意外な所から攻撃するので非紳士的であるといふのか

エリントン中佐 いやいや、さうではない、自分らの軍隊では〝戰爭と戀愛とに於ては何をしても正しい〟といふ標語である、日本軍の攻撃は優秀である

問 エリントン隊長が最後に部下に與へた訓示はどんなものか

エリントン中佐 各中隊毎に武器を積み上げ日本軍の命令を待てと命令しつぎのメッセージを全員に告げた『自分は諸君が非常によく戰つたことを尊ぶ、諸君自身のあやまちではなく命令を受けたので降伏する、戰死に當り敗北に際しても義務と規律を示した諸君の戰友を記憶せよ、俘虜となつてもローヤル聯隊の名譽を尊めよ』といふのである、現在自分達は軍人として日本に對し敵意を持つてゐない

モファット准尉 我々一同は日本軍の正遇に感謝してゐる【朝鮮軍檢閲濟】

語る英軍俘虜

▲ローヤル聯隊第二大隊長中佐エリントン(四七) ▲同第二中隊長少佐ライトン(三七) ▲同第一大隊副官大尉ペイク(三七) ▲同第三中隊附准尉モファット(三九) ▲迫撃砲中隊小隊長軍曹ストレンジ(三九) ▲ローヤル聯隊第二大隊第一中隊分隊長兵長アンカース(三二)

【寫眞=語る英軍俘虜=朝鮮軍檢閲濟】

優秀な皇軍の攻撃
正遇に心から感謝

梨本祭主宮殿下 神宮御參拜

【山田電話】神宮祭主梨本宮守正王殿下には十七日の神宮祈年祭御奉仕のため十四日午後零時廿三分山田驛御着、軍官民の奉迎を受けさせられた御のち祭主官舍に入らせられたが、午後二時官舍御出門、神宮に御參拜あらせられた

社説 めぐり來し勝利の日

一

英國東亞侵略の牙城シンガポール陥落して早くもこゝに一年、勝利の日は再びめぐり來つた。あの日、あの夜、大いなる感激と歡喜に群れて行つた昭和十七年二月十五日、この日こそ一億國民の忘れんとして忘れ得ぬ歴史の日である。いま瞑目して靜かに想ふとき、油然として我々の記憶に蘇つて來るものはやはり一年前のあの感激と歡喜である。我々はこゝに改めてこの世紀の偉業を讃仰すると共にその世界史的意義を再び確認し、明日の決戰に處する[illegible]したい。

二

戰前、英國が「不落の要塞」と豪語し、十五年の日子と八億圓の巨費を投じて築造したシンガポール要塞が僅か上陸三日にして、皇軍の脚下に慴伏したといふことはもとより世界戰史に曾つて類例を見ざる戰略戰術の卓絶と火と燃ゆる皇軍魂とによるものであるが、我々はこのシンガポール攻略が三日にして成れりと速斷してはならない。即ちこの不落の要塞をして陥落せしめるまでには實に驚異的長驅一千百キロのマライ戰線六十六日の惡戰苦鬪があつたことを忘れてはならないのである。しかもこのマライ戰線六十六日の作戰自體が既に戰略戰術の一大驚異であり、加ふるに神速果敢な皇軍の不撓不屈の精神と血と汗と努力がこの偉大なる結果を生んだのである。このマライ半島上陸よりシンガポール陥落までの陸上作戰こそは帝國陸軍の名を不朽不滅のものとせるものであつて、シンガポールの陥落は實にその偉大なる總決算であつたことを銘記すべきである。

三

更にこの血を以つて綴つたマライ半島攻略史を繙く時に、見逃してならぬことはシンガポール陥落のもつ軍事的、政治的、經濟的意義である。即ち香港陥落によつて東亞の一大根據地を失つた英國は瞬く間に蘭印を放棄し、南太平洋の諸島を撤退せざるを得なかつた。この意味に於いて大東亞戰爭の作戰的任務は既にこのシンガポール陥落を機としてその一半を完了したといつてよいのである。それほどシンガポールのもつ軍事的、政治的重要性は英國にとつても大きかつたのである。然るにそのシンガポールは昭南として、大東亞戰爭の戰局の推移を[illegible]れば、シンガポール陥ちてからの大國にとつて重要なる據點となつた。

四

昭南は今や大東亞戰爭遂行の上に重要な役割を果しつゝ、甦生の發展か輝しきものがある。曾つて東亞を搾取し、アジヤを蹂躙せる英帝國主義の伏魔殿シンガポールは東亞を解放し、アジヤ永遠の平和と幸福を祈念する帝國の南方經營の一大據點としてその相貌を一變した。治安の回復、復興作業の進捗、經濟の順調なる發展など我々は明朗なる現地報告に續々接してゐるのであるが、この新しき建設に起ち上る昭南甦生の姿を、我々は如何なる感懷を以つて眺めつゝあるか、想像するだに痛快なるものを覺える。

五

しかし、太平洋における重要據點の大半を喪失して東亞より撤退せる英國ではあるが、なほ敵は非道なる敵愾と老獪なる謀略を以つて、飽なき反攻をその思想とし、更に南海の孤兒濠洲に據つて反樞軸陣營の反撃作戰に執拗なる戰意を示してゐる。それは所詮甲斐なき彼等の反攻であつて、淨き白晝夢に過ぎぬものであるけれども、我々はこれを斷じて侮つてはならぬ。我々の究極の目的は敵米英勢力の全世界よりの掃滅にあり、敵性一つなきまで我々は戰つて戰ひ抜かねばならぬ。その意味に於いても我々はシンガポール攻略の意義を無駄にしてはならぬのである。再びめぐり來れる勝利の日を迎へて、我々は更に勇氣百倍、聖戰完遂のために戰勝の自信をもつて、凡ゆる努力をつゞけて行かうではないか。

けふの兩院

貴族院 本會議=午前十時開會、賀屋藏相より衆議院におけると同様の財政演説を行つたのち田中館愛橘氏(無所屬)國語政策に關して文相に質疑し終つて日程に入り、請願委員長高橋是賢子爵の報告あり、次で衆議院より送附の増税關係法案十二件、公債發行關係法案十件を順次上程、特別委員附託、さらに戰時刑事特別法案を上程、委員長柳原義光伯報告に對し岩村法相より政府の所信に關する言明を行ひ採決に移り全會一致を以て可決、衆議院に送附、請願を一括上程、これを採決して散會、豫算總會午前十一時開會、審議方針を議決し政府の説明を聽取のため秘密會に入る、委員會=午前十一時より農業保險、午後一時半より石油專賣、請願第一分科ならびに決算委員會を開く

衆議院 本會議なし、委員會=午前十時日本證券、都制、農業團體、農業保險、戰時特例、石油專賣、決算の各委員會、午後一時より赤字公債、國民貯蓄の兩委員會を開く

消息

◇大島良士氏(朝鮮協同油脂社長)十五日朝〝興亞〟で歸城

決戰經濟の確立
私的利潤から高度公益性へ
戰力增强施策全し

決戰議會から【下】

決戰に臨む政府の經濟政策に關聯し衆議院における本會議をはじめ各委員會で論すところなく檢討された結果、諸論議は殆ど網羅的では十日間のうち九日間を戰力增强を基調とする經濟政策に論議が集中されたのである、而して論議の焦點は重要産業を中心とする産業行政の振興、戰時企業體制の整備、勞務組織の確立、物價政策の進展、輸送力の增强など決戰經濟への根本的諸問題、通計三百六十億圓を超える尨大豫算ならびに增稅案を繞る戰時生活設定の諸問題など戰時財政經濟の全般に亙るものである、特に今議會をして戰時經濟の一轉期として見るならばそれは從來の理念經濟から旺盛なる實踐經濟への移行として注視すべきものである、これは決戰期といふ現實の事態と、支那事變以來六ケ年に亙るわが國戰時經濟の經驗として今日の果實を齎すものであらうがその飛躍は蓋し一劃期とするに足る、今次議會の中心問題である戰時職權行政特例法案の如きもこの事態と經驗の下に極めて有效かつ適切たり得るのである

◇

理念經濟から實踐經濟へ、而してこれはわが國政治經濟が完全に戰時といふ軌道の上に滑り出したことを意味する、また特に政府がこの經濟指導に當つて權力强制によるる威迫を避け下から盛上る力を期待して全經濟機構の活用による國民の創意を尊重する態度をとるとその經濟運營の構想を明かにしたことは戰時經濟の全日本的政策として注目に値する、併しながらこの動向から推して計畫生産が修正され、統制經濟が緩和されると見るが如きは全くの誤りである、岸商相はこの點に關して明かに『決戰のためには五大産業と雖も必然能率の高い優秀企業に對し資材、資金、勞力、動力など生産諸要素を集中して合理的政策を行ふ必要がある』と述べてゐる、卽ち計畫生産、統制經濟は決戰に卽應して愈よ高度化されるのである

◇

以下生産諸問題に關する政府言明の主なるものを擧げて見る

一、企業形態問題 東條首相は『機構弄りは大嫌ひだ、産業の國家管理といふが如きことは國體に副はぬ』と斷言、鈴木企畫院總裁は『國民全部がおつとり刀で解決しなければならぬ時代である、官であらうと民であらうと悉くこれは一體である、かういふ思想に立脚して總て産業が經營されて行かなければならぬ』と述べ、産業の國家管理、國營論といつたやうな巷間の浮說を一蹴飛ばしてゐる

一、統制會問題 重要産業統制會は本質的に營團と異なるものであり飽までこれを强化して行く、商工當局としては統制會自體の自主性强化、業界の全面的協力をその中心とする、會長は勅令による職代制とし、將來軍需監理工場は統制會の傘下に收めて行く、戰時特例五法案成立のうち鐵、石炭、輕金屬、造船、航空機の五重要産業に對し特に資金、勞力、資材、動力の重點が集中する際これが運營は總て統制會に移行する

一、價格問題 石炭、鐵など基礎物資の販賣價格を引上げることは戰に第二次、第三次物資に影響を與へることになる故飽まで補償政策による二重價格制を維持し基礎物資以外の物資の價格は嚴格なる原價計算を行つてその適正化をはかり、石炭、鐵など現在採算割れのものは徹に赤字補償にとどめず十八年度豫算には適正なる利潤を確保し得るやう各般の諸要素を織り込んで價格補償が講じられてゐる、また優秀なる軍需工業の生産品については一應適正利潤を保證してゐるが將來は累進價格制についても考慮してゐる

一、纖維産業問題 纖維産業は無謀なといはれる機構を日本獨特の整備法によつて處理せんと計畫してをるほか纖維資源の採掘には萬全を致してゐる、また纖維事業の一元統合は一時的に生産減退を生ずるとともに業者に無益の混亂を與へる恐れある故かかる方針は取らない

一、最重點産業の擴充問題 戰時行政特例法適用の對象となる重點産業は鐵、石炭、輕金屬、造船、航空機のいはゆる五大産業のほか將來は、その範圍を擴げ、特殊工作機械などにも擴大する

一、中小商工業者整備問題 小賣業整備の十七年度第一次目標の石油、石炭、自轉車、貴金屬、時計、ガラス、洋服、和服、洋品、陶磁器、纖維品などは本年三月その整備を完了する、纖維産業は强度の整備を斷行するが、それが整理に當つては飽くまで中小企業の本質を生かし努めて彈力性を持たせて行く考へである、またその整備完了後においては産組と商組との調整については其の分野を現狀通りとして行く産組は生産物の集荷、商組は配給一段と確然分離する

◇

以上によつて大臨戰力增强を目指す決戰的産業經濟の方向がうかがはれる卽ち最高度の計畫生産、統制經濟が從來の觀念的な理論を脱して、現實に卽した決戰經濟として施策されてをるのである、この際特に注目すべきことは從來統制經濟運營上殆ど顧みられていなかつた流通經濟に對し非常な理解と配慮が拂はれてをることである、從來の統制といへば全く生産機構と物資を中心とした流通經濟に對しては極めて消極的な態度が取られ物動計畫と資金計畫との一般化を理想として來たのである、いひかへれば私的利潤は極度にこれを排制してすべてが高度の公益的立場において實現されたのである、固より今日と雖も公益が理念の基礎たる點に變りはないが商業の作く、石炭、鐵などに對する利潤を見込む補償制度或は衆議院豫算分科會で行はれた原價計算の緩和、增産に對する累進的價格制の考慮など物動計畫の完行を戰に計畫生産の面から推進するのみでなく商業機構の持つ作用力を積極的に生産增强に役立たしめんとして意圖する考へである

◇

食糧增産も戰力確保上最も重要なる問題として熱心なる論議が展開されて議論は極めて建設的であり米價引上げが論議側の一致した要望である、それに對し井野農相は（一）低物價政策に反すること（二）現在の米價は一昨年の生産期を基準とするもので、昨年の豐作に見れば生産費を割つてゐない（三）價格により農民に意欲を與へることは農民精神に反するなどの理由をあげて寧ろ經濟の合理化によつて生産費の低下をはかるべきだと說いてをる、また特に農民精神の昂揚を力說、皇國農村の確立を促進すべく農村再編成を强調して一般農民の協力を求めてをる食糧確保の上に半島の占む地位は極めて大きく、井野農相は半島に期待するところ大であると述べて特に半島農民の奮起を要望して をる、固より決戰下の事の遂行は内外地を問ふまでもなく一億國民の奮起にまつところ多い食糧と共に半島重工業の總協力、地下資源の總開發が今日ほど切實に要望される時、公益と私益との調和をもつて決戰下の物動計畫を遂行せんとして、或はまた皇國農村を確立して燃えあがる民意の下に戰時經濟の圓滑なる運營を企圖する政府の方針たるや將に決然の極みである、それを賄ふ豫算將に三百六十億、その金が生きるか死ぬかそれは國民の決戰的協力にかけられてをるのである

生産戰力の積極策
勞銀の改訂も行はん

戰時下では半島に負荷されたる生産力擴充促進の具體的方策として臨戰態勢による工場、鑛山などの監察を實施すると共に生産力增强の中心たる勞務對策を一層强力に遂行すべく目下府勞務課の手許で具體案を考究しつゝあるが、大體勞務對策の重點を勞務者の移動防止の取締り强化、勞務者の錬成强化、勞務者の生活訓練および福利厚生施設の擴充の四點に置き、次の如き方針の下に現下の決戰體制に卽應して生産戰力の決戰的增强の目的を達成せんとしてゐる、卽ち

一、勞務者の移動防止 勞務調整令により重要工場、鑛山、作業場などの勞務者の移動を極力取締つてゐるが、未だに中小工業方面においては高賃銀によつて熟練工を引拔く弊が絶えず當局を惱ましてゐるが、今後はかゝる場合引拔かれて移動した無智な勞務者よりも寧ろ情を知りつつ熟練勞務者を誘惑する經營者の取締りに重點を置き、勞務調整令を嚴重に適用して容赦なく違反を摘發する

二、勞務者の錬成 すでに發表された本府の職域錬成要綱に基づき三月一日から各工場、鑛山等でも錬成を開始するが、その際錬成によつて生産能率に影響するが如きことを極力避ける方法を採ると同時に、各事業場の特殊事情に應じ、各作業形式に卽應した作業訓練ともいふべき具體的錬成方式を採用せしめ且つ要職、採炭など各作業と戰爭との關係に對する明確な認識を鼓吹して生産戰士の士氣を鼓舞することに努める

三、生活訓練 作業場以外の日常生活の再訓練であるがこれは内地工場、鑛山等の實例に鑑み獨身勞務者は出來る限り工場附屬の寄宿舎、寮等に收容して集團的に生活訓練を與へる

四、福利厚生施設 從來同樣重要産業の勞務者に對しタオル、石鹸、綿布、地下足袋、米、酒等生活必需品の特配を行ふと共に、酒、煙草については一定數量を限り値上げ前の値段で配給すべく考慮する、などで、更に右の外朝鮮における勞務者の賃銀は内地及び北支、滿洲國等に比し最低位にある上近く實施される增稅による物價高等の關係もあり、本府の物價政策と睨み合せ勞務移動防止の見地からも近く勞銀の改訂適正化を行ふこととなり愼重に準備を進めてゐる

佛印は友好的關稅政策
山口局長答辯

【東京電話】十三日午後の衆議院石油專賣法委員會において川上氏（大阪）より佛印の對日關稅政策につき質したに對し山口交易局長は最近佛印は本國より自主的關稅政策を認められ、わが國に對しては極めて友好的な各般の措置を講じてゐる旨左の如く說明した

▲山口交易局長答辯（速記要旨）佛印側の對日關稅政策については先きの日佛印決濟方式の取極めでは觸れてゐないが佛印は最近本國より關稅自主權を認められることになつたので日本との關係においては兩國の交易に支障を來さざるやうな關稅政策を實行してゐる、すなはち佛印の關稅率は一般稅率と最低稅率の二本建となつてゐるが協定國たる日本に對しては一般稅率の約三分の一に當る最低稅率を一般に適用してゐる、殊に日本から輸入する食料品、生活必需品など四十七品目については免稅とし、綿布、雜貨類については最低稅率をさらに引下げてをり、また對日輸出品たる玉蜀黍、石炭、亞麻子油、亞鉛には輸出稅を免除するなど極めて友好的な關稅政策をとつてゐる

掃除の七功德 2
朝鮮軍報道部長 倉茂周藏

その二 衛生保持

『このところ立小便お斷り』がお斷りしたためしはあるまい、人は好んでこの禁制地區で用を足してしまふ、結局こんな貼札の貼つてあるところが大概よごれてゐるからである

もつとも朝鮮には公衆便所の施設があまりなく、途中で催した場合に困ることもあるが、こんな時は公衆便所がはりに選ばれるのがこの『貼札』の場所である、きちんと掃除されてあれば、たとひ犬の子一匹ゐなくとも立小便など出來つこはないのだ、第一、家の中をどんなにきれいにかたづけてみたところで、家の外に馬糞や紙屑がうづ高くころがつてゐては、蠅や蚊などの絶好の溫床となり、やがて彼らの家庭侵入となり、病氣や傳染病となつて現はれてくる

一體、朝鮮の家庭には、便所の設備がなく、地方ではよく大小便を屋外でやるなどもつての外だ、これでは何もかもぶちこわしである、早くこんなところは改善しなければならない

掃除するなら外も内も同じくきれいに…自分のためばかりではない、これも社會奉仕の一つだ

低燐銑も順調な生産
對日送出に萬全
武部滿洲國總務長官談

【新京十四日同盟】武部滿洲國總務長官は十三日記者團と會見、本年度における滿洲の對日供給につき左の如く語つた

鐵の增産については官民一致の努力によりすでに普通鐵鋼は本年度對日送出協定量を完送し、日本側から懸念されてゐるが、燐除の關係、低燐銑なども順調な生産が行はれてをり、三月の年度末までには日本の期待量を計畫通り送出できる、かくのごとく東亞の期待に副ひ得るのは滿洲國の生産力が非常な躍進を遂げつゝあることを示すものである

勞働力不足地
米、卅二區指定

【リスボン十三日同盟】ルーズベルトの一週四十八時間勞働令發布と同時に、米國人的資源委員會は全國で最も勞働力の不足してゐる三十二地區に同法を適用する旨發表した

昭南島の新しき地位
森谷克巳

森谷教授

一

わが山下將軍の前に、敵將パーシバルが無條件降伏を誓ひ、シンガポール攻略の歴史的偉業が成つたとき、一年前のわれ〱の感激は絶頂に達した。今その一周年を迎へてあの感激が生々と甦るのであるが、シ島攻略の意義は大御稜威の輝きを益々弘め、民族の誇りをいよ〱高めたものとして不滅であるといふのみならず、同島の地位の重要性よりしても極大でなければならぬ。イギリスが東亞侵略の據點としてマライの一土侯からシ島を獲取したのは今から百二十四年前の、わが文政二年であり、そして明らかに對日決戰に備へるために巨額の費用を投じて世界最新式の一大海城の構築を完成したのが昭和十一年であつた。かくて同島はインド洋にとつての東の『番兵』となり、又二つの前哨堡壘、香港濠洲の諸港と共にイギリスの謂はゆる『戰略的三角形』を形成してゐた。

今やイギリスは東亞侵略の野望を決定的に粉碎され、その『戰略的三角形』は崩壞してたゞ濠洲のダーウイン港のみがその前哨基地モレスビー港と共に殘されてゐるにすぎない。しかもインド洋は東の『番兵』を失つて、も早全く英帝國の『内海』と看做され得なくなつた。日本はシ島攻略により、自らインド洋への出擊、濠洲への進擊の態勢をとりうるやうになつた。

二

シ島は昭南島と改められることにより、同時に英米の東亞侵略の牙城から一轉して日本の大東亞保衛のための前哨基地となり得、更に東亞の最大據點の一つと看做されうるやうになつたが、昭南の重要性は、啻にその歴史的事情、すなはちそれが一大中繼港として、かつまた强大なる海軍根據地として發達し來つたといふ事情のみならず、その地理的位置に基いてゐる。

昭南の交通地理的、國防地理的位置は地圖を見れば一目瞭然である。それは東亞と歐洲との交通路の要衝にあるのみならず、大東亞海を含む東南アジヤ全體の交通の中心地をなしてゐる。すなはち鐵道は半島を縱貫して泰國鐵道と連絡しバンコクに至り、又大東亞海の一大島嶼群は昭南を取卷いて散在してゐるのである。

帝國の中心から約五千粁を隔てて存する昭南は大南方圏保衛の最大中心地と看做されねばならぬ。昭南の國防地理的重要性は、同島を中心に圓を描いてみればいよいよ明瞭となる。卽ち同島を中心とする二千五百粁サークルの中には印度支那半島の全部、南支那、ビルマの一部、およびニユーギニヤを除く大東亞海諸島の大部分が包攝され得、西はセイロン島に達しうる。しかも五千粁サークルの中には、北は支那大陸、西はインド半島全部、南はニユーギニヤおよび濠洲の大部分が包攝されうる。

それ故に昭南は、帝國の鞏固なる南進基地としてといふよりも、むしろ大東亞國防圏の最大據點の一として建設されねばならぬ。

三

かやうに昭南は、その國防地政學的重要性の故に、政治的に最も重要視されねばならぬといふことは自明であるが、しかも同島は諸民族の凝合から成り、殊に華僑が人口の多數を占めるといふ點、政治的に特別重視されねばならぬところである。一九三九年の推定によれば人口總數七十二萬、その四分の三が華僑で、殘り四分の一の約半分がマライ人、他の半分がインド人（約六萬）、アラビヤ人、アルメニヤ人、日本人、歐洲人等から成つてゐる。この點は政治的に國土政策的に特別重要視されねばならぬところで、殊に同島の國防的重要性に鑑み、何よりも皇民を大量に配置することによつてその政治的地位の强化を圖ることが緊要でなければならない。

經濟的には、昭南は世界の巨大なる中繼貿易港として將又大南方圏の貨物集散地として最も重要なる地位を占めることはいふまでもないが、今後は南方圏の豐富なる原料の加工地としても益々重要性を加へるであらう。中繼貿易港としての昭南の地位は從來世界有數で、同港の倉庫には世界のあらゆる部分の産物が見出されるといはれたが、昭南のかゝる地位はもちろん今後も保持されるであらう、殊にゴムおよび錫を二大宗とする南方物資の集散港としての昭南の地位は今後も變りないであらう。尤もその貿易内容は自ら變らねばならぬが。

從來昭南の工業としては、錫の精錬工場、パイナツプル罐詰工場、ココ椰子および油椰子の搾油工場等が主要なるものであつたが、今後同島は現地工業確立の要請に基き一般的に廣く南洋に亙る工業の發達をみ、大南方圏における綜合工業諸地域の一大中心地として發立しうるに至るであらう。

四

社會的には、昭南は從來華僑が經濟的に民族的に大なる勢力を有する諸民族凝合體をなしつゝ一體制下におかれ來つたが、今やそれがかゝる體制から解放されて新しい地位につくこととなつたのである。今後それは皇民を中核として協和的發達を遂げるやうに指導されねばならない。

昭南は文化的にも今後日本文化の直接的光被のもとに、南方における文化的要地として著大なる發達を遂げねばならない。同島は南方交通の要地である以上、文化的にも重要なる地位を占むべきことは明らかであるが、しかもそれは諸民族の凝合から成り南方諸族の謂はば集約點ともなつてゐる。のみならず今後そこに皇民の大量進出をも期待せねばならぬ。これらの點よりするも、昭南は南方における文化的要地として建設さるべきことが容易に理解され得よう。

從來昭南には、一九二九年に開設されたラツフルス大學と、他にエドワード七世醫科大學の二醫科大學が存し、これらを合せて綜合大學建設の計畫も存したが、今後はそれらに代つて日本の學術文化の優越性を誇るに足るべき綜合大學の建設も當然計畫さるべきであらう。要するに昭南は文化的にも南方の要地と看做さるべきで、教育施設は固より、試驗研究機關、その他の文化諸施設も可及的に再建整備されねばならぬ。

要するに昭南は、國防、政治、經濟、文化等あらゆる點からみて南方の最大要地でなければならぬ。今後それは皇民の大量的進出により大なる建設が行はるべきことはいふまでもないところであるが、われ〱は今日かゝる要地攻略の一周年記念日を迎へて、何よりもまづ一年前の感謝感激を新たにしつゝ南太平洋の決戰において米英勢力の壞滅を期すべき覺悟を新たにすることが最も必要である。

【筆者は京城帝大法文學部助教授】

林兼、大洋捕鯨等が合併

【下關電話】決戰態勢下の重要食糧資源たる漁業生産の飛躍的增大を圖るべく農林省では水産企業統制を行ふが西部地區では株式會社林兼商店、大洋捕鯨株式會社、遠洋捕鯨株式會社の三社を統合し、西太平洋漁業株式會社を設立する、創立の暁は既設の南洋支店及び朝鮮における漁市着鮮漁業、大巾着網漁業に遠く海南島をはじめ南方諸地域における各種漁業部門も包含されることとなるが新會社は三月中旬までに創立、資本金は七千萬圓程度で本社は下關林兼商店内に置く豫定である

初給賃金適用期間
從來の規定を半年に短縮

【東京電話】厚生省では戰下戰力增强の最大要素たる勞務者生産能率の飛躍的向上に資する一手段として今回現行賃金統制令施行規則中の最高初給賃金適用期間短縮を斷行すること、なり、十三日公布卽日施行した、しかして從來の最高初給賃金適用期間が主として勞務者移動を防止する見地から定められ、その後勞務調整令の實施を機として賃金の面よりする移動防止は右調整令により勞務需給の面より强化され、漸次所期の目的を達しつゝある點に鑑み、從來長期に過ぐる嫌のあつた最高初給賃金据置期間を短縮、これにより主として經驗、技能者を尊重し生産の昂揚、賃金支給の彈力化を圖らんとしたものである、その要點は左の如くである

一、三十歲未滿の經驗勞務者は從來一ケ年最高初給賃金を据置かれたがこれを六ケ月に短縮した（從來の一ケ年規定は青少年移動制限令に基いてゐた）

二、三十歲以上四十歲未滿の經驗ならびに未經驗勞務者とも從來の一ケ年据置を六ケ月とした

三、職業輔導所（厚生省）傷痍軍人職業指導所（軍事保護院）機械工養成所（商工省）日立大井大網向城機械工養成所、東京鑄物工業組合（以上民營）などの養成施設、または工業學校を修了せる經驗勞務者にして合理的な移動によらず雇入れられたものは從來一ケ年据置であつたがこれを三ケ月に短縮した

獨軍の後退戰略
迫る春季攻勢を刮目

週間世界の動き

ガダルカナル島ならびにニユーギニヤのブナ方面戰況に關する九日の大本營發表は壯烈鬼神を打つものがあつた、同方面の皇軍陸海軍部隊は寡よく半歳に亙つて敵の大軍を交へ、然る後他方面に毅然たる轉進を行つたのであるが、その間における皇軍の苦鬪ぶりは實に鬼神を哭かしめるものがあつた、然しわれ〱が銘記しなければならないことは、この半歳に亙る壯烈な苦鬪の反面において蓄へられた精鋭な戰略的態勢を持つて生かされてゐることである、卽ち十日議會における政府委員の說明によると、ガ島およびブナ方面の赫々たる戰鬪部隊はこの日米大遭遇戰の前衛の役割に當り本隊の展開、卽ち後方要域における戰略態制の確立を擁護するため敵の反攻準備整はざる以前に敵地深く前進したのである、抑も本隊の戰略展開が餘りに神速整然に行はれたので世人の注意を惹かなかつたのであるが、この展開卽ち大東亞の外郭を固めることは大事業である

……◇……

然るに敗戰にあへぐ米軍側に取つては戰局を挽回し敗戰を取繕はんと焦慮する餘り、ガ島やニユーギニヤの一角に半歳餘に亙り全く牽制せられて我をして各地の地域を固めさせた米軍戰略の間拔け加減は洵に笑止千萬である、レンネル島沖の大海戰によつても判るやうに最近わが空軍のニユーギニヤ、ソロモン、濠洲方面に對する空襲が至つて强化されたこと、また十二日の大本營發表によつても明らかなるが如くわが潜水艦の活躍が遠く濠洲東岸にまでおよびつつあることなど、南太平洋方面におけるわが要塞の確立を實證するものに外ならない、敵側も最近は步調を合せて『南太平洋における日本軍の戰力增大』『濠洲の危機切迫』を唱へてゐるがかくの如きわが戰略こそ實にガ島ブナ方面のわが部隊の功績に歸すべきだらう

……◇……

獨ソ戰況は依然樂觀を許さないものがある、英紙イヴニングスタンダードの報ずるところによると、ソ聯は今や第一線兵力二百五十個師に加へて第二線豫備軍八十個師戰略的豫備軍二百個師全部を投じ遮二無二の攻勢を續行中の模樣である、攻擊の重點はいふまでもなく南部戰線で最近の報道によるとロストフならびにハリコフのドイツ軍防備線が最大の危機に曝されつゝありといふ、獨軍がこの二大要衝をよく支へ得るか否かは別問題としてこのやうすでは赤軍の攻勢はなほ當分續くものと見るべきだらう、消息通の見解によると雪解けによつて機械化部隊の行動が困難となるまでにはまだ五週間の時日を餘してをるといふ、恐らくはその五週間中に赤軍が南部方面においてかなり廣汎な失地を恢復することに成功するだらう、しかしこゝに注意を要することは赤軍成功の一つの理由が獨軍の戰略的後退戰術にあることである、昨年の冬季戰の例によつても明らかな如く獨軍は冬季をもつて兵力の休養期間としてをるのである當然の結果として自主的に戰線の整理縮小を圖つてをるのである、赤軍が全線に亙る意外な兵力を投じ豫想以上に熾烈な攻勢をもつて攻勢に出で來つたことによつて或ひは獨軍は最初の豫期以上に戰線の縮小を餘儀なくされたといふことは、あり得るかも知れない、しかし何れにしても赤軍の進出ぶりの反面には獨軍の後退戰略がある事實には變りはない、かうした反面の事實が何を物語るのかといふとそれは前回においても指摘した如く赤軍兵力の極度なる消耗と獨軍の春季攻勢成功の可能性である、赤軍の今冬における反擊程度が大きければ大きいほどやがて來るべき獨軍の勝利の可能性が增大するといふ逆說がある程度こゝに成立するのではないだらうか

……◇……

カサブランカ會談に引續く英土アダナ會談、米伯ナタール會談、米英支重慶會談等とこゝのところ反樞軸國は戰爭をそつちのけにして專ら『會談』に憂身をやつしてをる形である、最近東京に着任したスターマー獨大使は米英側のかうした傾向を指して『それは彼らの間がそれだけ不統一であることを意味するとゝもにまたそれだけに彼らが如何に困難な立場に置かれてをるかを意味する』と述べてをる、正にその通りであるが同時にわれ〱は米英がかかる會談を中心に對樞軸神經戰術に出でんとしてをる事實も見逃してはならない、例へばアダナ會談の後に『米土間には緊密な軍事協定が出來た』とか重慶會談の後に『反樞軸軍は日本軍に對する反攻計畫について完全に意見の一致をみた』とかまたカサブランカ會談の後に『米英軍は近く大規模な第二戰線を展開することに決定した』など鳴物入りで宣傳してをるのがそれである、われ〱がかうした敵の神經戰術に躍らされて氣を病む必要は一つもないのであるが、しかしよその國の特質としてその宣傳の背後には往々にして或る種の眞實性が隱されてをることに注意を拂ふ必要があらう、米英の實際的當事者達は勇敢にこれが實現の約束を行つてをるところを見ると文字通りの第二戰線ではないにしても恐らくそれにかはるべき何らかの反攻計畫を持つてをるに違ひない、でなければ、彼らは輿論の手前困らなければならないのである

……◇……

米英が歐洲に對してどんな反攻計畫を樹てゝをるか、神ならぬ身の知るよしもない、文字通りの第二戰線であるかも知れないし或ひは多少大規模な對獨伊空襲であるかも知れない、しかしそれは兎も角として米英の新計畫は對獨作戰と同時にソ聯に對する牽制的作戰の意味をも有してをることを忘れてはならない、米英はドイツの成功を恐れてをると同樣にソ聯の成功をも恐れてをるのである、從つて米英の新作戰は決してソ聯の成功のための縁の下の力持ちとなるやうな形はとらずその作戰が同時に對ソ牽制を果し得るやうな形をとるであらうと思はれるのである

隨想錄

不言實行といふことを古人は訓へて居るが、默つてみてゐるうちにここぞと思ふところで起ち上り、ぐいぐい仕事をする人間は個人としても怖ろしい▲萬葉の歌人高橋蟲麻呂朝臣は〃千萬の軍なりとも言擧げせず取りて來ぬべき男とぞ思ふ〃と詠んで、矢張り默つて戰ふ人間は千萬の大軍にもびくともせず勝つものだと云つてゐる▲戰爭の前から米英は盛んに宣傳し、三ケ月もあれば日本を叩き潰せるやうに云ひ、ルーズベルトとチャーチルは、鳴物入りで會見して、俺の方が强いぞと云ふことを世界に知らしめようとした。その間、日本は默つて勝利への準備をすゝめつゝあつた▲愈よ火蓋を切ると日本の兵は銃劍だけで、敵の巨艦と機關銃のなかへ飛込んで行つた。〃言擧げ〃をしない神兵の凄さに、敵が怖毛をふるつたことは、降伏した敵兵の談話でもよくわかる▲重慶に對しても、ソ聯に向つても、兵器を貸與する、援助をすると、聲を大きくしていひ乍ら、本當には何もして居ない。これはせぬのでなく出來ないのであるがそれを考へずにいふからボロを出すのである▲蔣介石などは、いふ方の親頭だから、喋るルーズベルトをまだ信用してゐるらしく、米國の貸せない兵器をなほ借りる氣で、個々出かけて行つてるらしいが、不言實行主義の日本から見れば、これは笑ふべき悲劇に過ぎない▲だが、めつたにいはぬ者がいつた場合には必ず實行が伴ふ。倫敦で、華盛頓で、觀兵式と觀艦式をやるといつたら、斷じてやる。いつやるか、それは時の問題に過ぎぬ。

第四十九期末（昭和十七年十二月三十一日現在）貸借對照表
朝鮮殖産銀行

[illegible]

第九期決算公告（昭和十七年十二月末日現在）貸借對照表
朝鮮共榮商事株式會社

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

シ港陷ちてけふ一年
偲ぶ死闘あの日の感激
萬歳も叫べぬ氣持
部下の英靈に祈る
語る市川少佐

【東京電話】シンガポール島英軍無條件降伏――世紀の偉業を打ち樹てたあの二月十五日はここに再びめぐり來つて一億國民齊しくあの日の感激を新たにし、必勝の決意を固める時、當時同島攻撃最前線部隊長としてわが最初の第一歩を敵の牙城に印した殊勲の市川少佐を陸軍士官學校に訪れ、わが獅子奮迅の勇戰ぶりを回顧した、『早いものだ、もう一年經つたのかな』と語り出す鬼部隊長と謳はれた同少佐の表情も今は靜かな感慨を秘めてゐる――

シンガポールと聞く度に必ず心に浮ぶのは強行上陸した時と、敵が白旗を揭げる直前に多くの尊い部下を喪つたといふことだ

敵は優勢な火力を

恃んで日本軍を出來るだけ近接させてから一齊に猛火を浴びせようといふ作戰だつたから、ジョホール水道を渡過してゐる間は殆ど損害がなかつた代りに、上陸地點に達着した瞬間から敵の砲火は凄絶を極めた、まるで機關大砲の一齊射擊とでもいふか、後で見ると大樹二抱に一發の割で彈痕がある、わが方の損害も決して少くなかつた、しかし重傷者ですらまだ歩ける者はすこしもひるまず戰友の屍を乘越えて敵陣に殺到、つひに上陸地點を確保し第一回上陸部隊としての重任を果し得たのだ、この日さらにテンガー飛行場まで進出することが出來、翌日はまたブキテマ、パンシヤンの線まで進行し、自後ブキテマ高地附近の激戰には最左翼部隊として參加した

口火を切つた地雷

を抱いたまゝ敵戰車に躍りかゝり、敵戰車とともに壯烈無比な戰死を遂げたのだ

また勇敢大上中尉は奇妙にもこの時、藤田嗣治畫伯が描いたノモンハン事件の繪の中に日本兵が敵戰車の上に乘つて銃劍で上から敵兵を串刺しにしてゐる光景を想ひ出し、咄嗟に軍刀を拔くや敵戰車に飛び乘り、天蓋を開けて中にゐた三人の英兵を撫で斬り、さらにこれに恐れて逃げんとした他の一台を追つて同樣にやつゝけ、わづか軍刀一本で敵戰車二台を生捕るといふ殊勲を擧げた、また他の二台はわが對戰車砲、戰車地雷などの餌食となり八台中、五台を毀つた敵は算を亂して逃げ去り、われわれはさらに前進をつゞけることが出來た

十五日敵が無條件

降伏した時はまだ戰はれてゐた、われは水源地附近に本陣を設き一部は既に市街に突入、敵との距離は近い所で二、三十メートル、遠い所で二百メートルといふ處に敵と睨み合つたまゝの姿勢であつた、敵は盛んに射つて來て、この日のわが方の死傷者は上陸以來の多數に上つた、それが午後六時三十分ごろ（日本時間）になると急に樣子がをかしく、砲聲もぴつたり止み、さらに驚いたことには前の貯水タンクの上に二坪位の白旗が上つた、よく見るとこれは白蚊帳でこれを四切りに敵の居る家々から敷布、シヤツなどいづれも白いものが次々と現れたのだ、しかしマライ作戰中敵はこの白旗でわれ〳〵を欺し打ちにしようとしたことがあつたから我々はなほ用心を怠らなかつた

中に剛勇な准尉が

ゐて、丸腰に國旗をかついだまゝの姿で敵方に行つてみると、向うはピストルまで捨てゝ飛び出して來た、こゝにわれ〳〵は初めて敵の停戰命令が出たことを知つたのだ、その時の氣持は後方では思はず『萬歲』が叫ばれたといふが、我々の如く敵と面と睨み合つた最前線部隊では、何とも筆舌に盡せぬ氣持で『萬歲』を叫び得る氣持にまでは到底至らなかつた、勿論嬉しくはあつたが同時に戰友の仇を完全に討てない殘念さといふものもあつたのだ、それからわれ〳〵は戰死者の收容、負傷者の手當などに飛び廻つたが、英兵はとみると死者も負傷者もそつちのけで、はやフツトボールなどはじめてゐるではないか、何といふ違ひかとつく〴〵思つた、シンガポール、それを陷すのは

色々の苦しいこと

勇壯なこともあつたが常に心に浮び頭の自づと垂れるのは、そこに散つた多くの英靈のこと以外にはないのだ

誠意と熱に敵將も歸順
一半島人寫眞師の宣撫美談

【大原十四日同盟】山西省のわが治安地區に潜入して暗躍せんとして敵少將の動靜を逸早く探知し皇軍の威容を諄々と說いた手紙を出すこと三回遂に國府陣營に歸順せしめた半島出身の寫眞屋の宣撫美談が一年ぶりに判明した……美

談の主は朝鮮舒川郡華陽面の出身で山西省潞州、南關に寫眞業を營む山下公夫君（三〇）で昨年春中國の一商人が、何氣なく吐露した『幼な友達が歸つて來た』の一言にぴんと第六感を働かせて調べてみたところ、その男は南京軍秘書官少將の

肩書を持つ王某で南關に潜入、七年半も前子に會ふ傍ら情報蒐集をせんとしたことが判つた、山下君はどうかして歸順させようと直ちに活動を始し前後三回にわたり、下の民衆の幸福と…

“日本人はどうした”
開口一番、敵將へ怒鳴る山下將軍
想起す兩將軍の會見
尾高少佐談

【東京電話】疾風迅雷の進撃一千餘キロ、シンガポールへ六十餘日の皇軍の猛進撃……マライ方面軍報道部長尾高三郎少佐（當時）は……シンガポール陥落一周年記念日を前に感激の想ひ出と報道戰士の血みどろの苦鬪を語つた

…タパル、ジツトラの要衝を陷れた…一ルに進出、敵の本據を眼前にして山下將軍麾下の皇軍將兵は一月卅一日夕刻早くも對岸ジョホール水道…英氣を養ふといふ餘裕ぶりを示した、そして九日未明ジョホール水道を渡過、テンガー飛行場を拔きブキテマ要塞を屠つて遂に勝史の日十五日を迎へたのである

私はこの朝　整理された報道戰士たちとコースウエー橋を

…とともに自動車で渡つて司令部へ急いだ、お晝過ぎになつて松井部隊長の第一線部隊へ敵の軍使が來たといふ知らせを受けたが、そのときはじめて敵の司令官はパーシバル中將であることを知つた、軍使はパーシバル中將の署名ある書面を杉田部隊長に手渡したが、それには

英軍は非戰鬪員、とくに婦女子のために戰鬪を中止する用意がある、會見はシンガポール市街で行はれたい

と虫のよい注文が書かれてあつたので、杉田部隊長はマライ方面最高指揮官の名をもつてわが方の要求を提示し

全面的降伏

がこの際…

國を救ふ唯一の道だと勸告した、シンガポール西北方六十二キロのブキテマ山麓の北方高地へパ中將が降伏にやつてきたのは午後六時四十分、歴史的な會見がフォード自動車工場ではじめられたのは七時だつた、山下將軍はパ中將と握手を交したのちまづ『日本人はどうしたか』と質問された、そして日本人が印度へ送られたことを知つたのち、はじめて椅子に腰を下され無條件降伏を提示された、パ中將の顔面は蒼白だつた、山下將軍は靜かにこれを見つめてをられたが、胸の中では遙か浪路の果に送られた

同胞の安危

を懸念され…

『明朝七時から戰鬪行動を…』と申出るや將軍は…筆で机を二、三度叩き『…は今夜だ』といつて…なにごとにも…ことだとその後…のときの信念に充ちた…には流石の英軍將校も…

演出效果に苦心
遺憾なしパーシバルの老猾さ
歴史的撮影の楽屋話

破れ戎衣、意氣軒昂
今は職場に……新義州の三勇士

【新義州電話】英國東亞侵略の牙城シンガポールが陷ちてこゝに一年、全國民はあの日の感激を再び胸に描いて決戰の年を戰ひ勝拔かうとしてゐるが、一年前、敵將パーシバルが無條件降伏を申し出た日、激戰地ブキテマにその報をうけて咽喉も裂けよと萬歲を叫んだ三人の勇士がいま新義州に在住、各々の職場に敢鬪してゐる、その勇士とは營林署勤務の…山八郎軍曹、土木出張所勤務の…田…太郎伍長、府內…東洋金屬工場に勤務…

…現れて來たが、簡單に手を擧げた奴等の氣持はどうしても解することが出來なかつた

◇……シンガポールの街に近づくにつれて敵の遺棄した何千臺といふ自動車が道路を埋めてゐたがこれがまた實に壯觀であつた、かくて敗戰英軍の慘めな樣にひきかへて、戎衣は破れてもわが將兵の意氣は益々軒昂であり…

【東京電話】疾風迅雷…を席捲した皇軍が敵の…ポールを陷落せしめ…フォード工場の一室…シバル兩將軍の歴史的…れた二月十五日…嚴として輝く記念日…つて早くも一周年を…

シンガポール攻略・勝利の回顧

【寫眞上】昭和十七年二月十五日、シンガポール港唯一の要塞たるブラカンマチ砲台はわが軍の猛攻にたが、四月三日〇〇部隊が同地に展開前進のため同島を偵察した際この白旗を鹵獲した【中】山下、パーシバル兩司令官會見記念室の入口【下】兩司令官會見思ひ出の…

シンガポール敵前上陸・血の記録 下
敵砲艦へ體あたり
呆れるばかり、渡過隊の度胸
込山仙治郎曹長手記

ジョホール水道の渡過隊には全部隊が死ぬ覺悟であつた、そこでお互ひは死んでも兵隊は渡してみせるぞといつた意氣で渡過作業に從つた、その中でも敵要塞からの強烈な探照燈を避けるために繰出した吉野光次郎曹長の渡過班は、僅かの兵を率ゐて小舟に乘りあの激流の激しいジョホールの水流に浮び出て

縱横無盡に

煙幕を張りめぐらしてゐたが、敵艦の來る度で實に勇敢に闘いてゐた

愉快だつたのは大膽にもこの渡過班の一行が對岸近くに浮ぶ敵砲艦の舷側に迫つて行つたことで、ドカンと艦の腹にこちらの舟を衝留りさせたのであるから向ふの奴も驚いた、日本軍の砲彈でも命中したと思つたか、慌ててめくら擊ちを開始した中を悠々と吉野曹長は部下を指揮して戻つて來たので私達もその度胸の太さに呆れた程だが、さぞ敵も驚いただらうと考へると思はず吹き出したくなるくらゐだつた

私は機舟〇隻を指揮して幾回となく水道を往復してゐたが三回目に月が出て敵砲彈が愈よ正確に飛んで來るやうになつた、もとく隊の

七割は失ふ

ことを豫め覺悟してゐたので愈よ死ぬ時が來たなと感じたが、別に恐ろしいとは思はなかつた、しかし出發前十分間のわが猛砲によつて敵も相當參つてゐるらしく、砲戰中止を合圖に一齊に激戰を開始したのだが、何しろ機舟が新品揃ひなので殊に敵砲の組立に苦心したのが辛かつたといへばいへよう、次に困つたことは敵岸の方は夜でも判るやうに充分偵察して置いたのだが、わが方の岸は充分見て置かなかつた、そのために第一回の機舟を送つて再び引返さうと思つても何處が私のゐた岸かさつぱりわからない、暗さは暗しどちらをみても同じやうな岸にみえて始末が惡い、それでも漸くカンを働かして無事に戻るには戻つたが部下の或る機舟はいつまで經つても歸らない

隊長も心配して各隊へ問合せたが一向消息はないのだ、愈よ…

魂で振る指揮旗
稻葉善吉伍長手記

未踏のジャングルと吹きつける樣なスコールに惱まされてジョホール水道渡過前一週間の準備期間…

稻葉善吉伍長

マイクで叫ぶ親切

日本は公正なり 私達は大滿足

台灣に收容の英俘虜

【〇〇十四日同盟】〇日午前九時要一色に圍まれた台灣俘虜收容所を見學した、俘虜の大部分はすでに開墾工事に出拂つたあとだつたが、事務所の潛り戸のすぐ右手の〇班では片隅に備付けられた新しいミシンの前に一人の若い兵士が不動の姿勢でわれ／＼を迎へた、ロンドン生れのエルリツター（二七）英國陸軍一等兵だ

本國で洋服商を營んでゐたところからこの收容所では俘虜の被服の修繕を一手に引受けてゐるのだが『收容所の生活はどうか』と訊ねると『僕は本當に幸福な生活を送つてゐます』と元氣に心から嬉しさうに答へる、班内には彼等の身の廻り品や官給品が整然と並べられ、日々の規律正しい收容所生活が窺はれる

突然入口で『氣をつけ！』の號令が聽えると班にゐた卅名近くの兵隊が一齊に起立した、下令者は陸軍々醫少佐アリソン（三〇）だ、彼は外科醫を本職として隊長に油輪を描いてゐるさうだが

此所に到着する前の海上生活は一寸暑くて弱つたが此所はとても氣候がよく生活し易い、時に私は軍醫であるので醫療に從事してゐるが俘虜達の健康は良好だ

と收容所の生活は滿足しきつてゐる、アリソン軍醫の隣りに居たソープ陸軍大尉に日本軍に對する感想を訊くと

日本軍は第一に勇敢である、さうして階級における服從は絶對的であり、嚴正である、各人が自己の仕事に對し充分な能力を發揮してゐる點は驚くばかりである、殊にジャングル戰における服裝の輕快さと、これに關聯する動作の敏速さは素晴しい

と語り同席のデイス陸軍大尉も

日本の空軍力は全く素晴しく、空軍と地上部隊との連絡は完璧である、殊に日本將兵が祖國のためには喜んで死ぬと云ふあの愛國の至情に對しては何といつてよいか言葉もない、英國の敗因の一つは戰場における戰友愛と共同精神に缺けてゐることだ

と悄然と眼を伏せた

日本は強い、戰爭は眞平

〇班を出て炊事場に入る、十名に近い炊事兵達が一心に腕によりをかけて居り明朗な笑聲が隅々に溢れてゐる、養鷄所、養兎所では百羽に近いレグホン種、二百餘匹の兎が飼育されてゐる、收容所内において何處を見ても整然として清潔され俘虜達の一擧一動にも日本的な正しい訓練のあとが認められた、正午の實食時間を見計つて〇〇谿の護岸工事作業中の俘虜の作業場を視察する

かつてわが激烈な戰鬪に戰意を喪失した投降兵が、さん／＼と照りつける小路を四列縱隊になつて後送されて行つたあの時の悄然と尾羽打ち枯らしてゐる姿は跡方もなく拭ひ去られ見違へるやうな明朗さを湛へてゐる、規則正しい俘虜收容所の日々の鍊成によつて肉體的にも精神的にも更生の日を得たに違ひない

石を滿載したトロツコが矢のやうに走る、俘虜達は與へられた作業によつて勤勞に對する正しい認識を創り出さんとしてゐるのだ

ランカシヤ出身G・デブリー（二〇）陸軍一等兵をつかまへて皇軍と戰つた思ひ出を訊く

自分はブキテマ高地附近で日本軍とはじめて戰つた、それは數日間位だつたと思ふ、英軍が敗れたのは英空軍が無力だつたからだ、日本空軍は全く物凄い、英軍は服裝は美しいが戰ひは全然なつてゐない、ジャングルの中から飛び出して來る日本軍を見て逃げるのにどんなに苦心したか知れない

といへばグラスゴー出身の一等兵R・スチブンソン（三一）が傍らから

戰爭はもう眞平だ、本國では十八年間ケーブルカーの仕事に從事してゐた、早く歸國してまた元の仕事に從事したい、戰爭で痛切に感じたのは日本軍指揮者の氣魄と下士官の卓越せる優秀性である

と附け加へる、そして口を揃へて

現在の生活に對し不滿を感じてゐない、辛いのは不寢番だ、英國では野營の場合以外には不寢番はない

と答へ合ふのだ、俘虜の監督に當つてゐる〇〇少尉も『最近俘虜達も熱心に仕事をやる樣になつた』と彼らの心境の變移を説明してくれた

ヤング總督と一問一答

かうした收容所の俘虜群に交つて日本軍香港攻略の十二月廿五日わが軍門に降つたマーク・ヤング總督がゐる、一九〇八年ケンブリツヂ大學を卒業、直ちに植民地官吏となりセイロン、パレスタイン、タンガニーカなどを經て一九四一年香港總督として赴任、本年五十七歳になるが、以下微と交した一問一答である

問 貴下が香港に來たのは何日か

ヤング 一九四一年九月東阿タンガニーカ州總督より香港總督となり赴任した

問 香港とタンガニーカとはどちらがいゝか

ヤング タンガニーカは大きな山もありヒンタラーンドもあつて非常によい所であつた、マライは通過しただけであるから大した感想は持たぬが、マライのトーマス總督とは一九四一年にシンガポールでお目にかゝり知つてゐる

問 收容所における取扱ひ及び俘虜としての感想如何

ヤング 收容所の取扱ひは非常によく、自分は第一次世界大戰當時ドイツ軍の俘虜となつた經驗があり、こんどは二回目であるが、家畜を飼はせてもらひ、また畠を與へられて、苺、トマトその他の野菜を作つてゐるが非常な樂しみである

問 趣味如何

ヤング 趣味としては讀書が一番よい、マコーレーのヒストリを愛讀してゐる、また當地は氣候が非常によいので所内での散歩もよくやつてゐる

問 貴下の經歴は？

ヤング 自分はケンブリツヂ大學の古典文學科を卒業して古典學には相當の趣味を持つてゐる

問 植民地政策の指導方針如何

ヤング 第一に植民地の住民の保護をすること、第二にその土地の繁榮をはかること、第三に敎育の刷新をはかること、自分はこの見地で香港を最後まで防備せんと考へたのである

問 貴下の所見に從へば植民地の住民保護を第一の目的としてゐるが、それならば何故第一回の降伏勸告を拒絶したか、降伏勸告を肯じなかつたゝめに貴下の軍隊は相當の被害を出したことを如何に思ふ

この問にはヤングも鋭く絶句し鋭いまなざしで睨みつけるやうな沈默をつゞけたが、やがて

ヤング 自分は當時また抗戰の實力があることを知つてゐたので、住民保護のために最後まで戰つたまでゝある

と答へ『大東亞戰爭第二年目に入り、香港をはじめシンガポール、フイリツピンなどの各地は今や御稜威の下新建設が進められつゝあるから安心されよ』と附言するとヤングは『サンキュー』とたゞ一言答へて部屋に入つて行つた（大本營許可濟）

（寫眞＝作業場へ急ぐ俘虜達＝陸軍省檢閲濟）

工事中の忠靈塔（昭南島）　陸軍省檢閲濟

明朗"青空一座"

北邊勇士の心に泣け

【滿ソ國境〇〇にて關東軍報道隊員本社特派員】〇〇部隊の中に『青空一座』といふのがある

原作から演出に至るまですべて一手に引受けてゐるこの一座は、寒を待つまでもなく寒風肌を刺す時でさへシヤツ一枚で南洋氣分を出しながら『ブキテマ高地』などの新作物を上演するといふ張り切り方、時にはレビユーも、漫才もやるといふ工合で明朗部隊でもその尖端を行つてゐる、しかもこの明朗さは決して浮ツ調子のものではなく銃後への甘えた氣持は微塵もない、大東亞戰爭を戰ひつゝある銃後は物資不足に困つてゐるであらうから一緒の我々も自給自足で行かうと凡ゆる面に創意工夫を凝してゐるのだ、野菜の栽培に牛豚の飼育增殖や、日常必要な各種器具の考案作成、さては豆腐パンの製造などを見れば判る、かうした銃後の人々への心盡しは數へ上れば限りもないが

あなたの氣持はよく判ります、しかし冬中外套を着ないで暖をとることはしてはいけません、あなた方は大事な體ですから無理せずに外套を着て學校に行つて下さい、そして立派な體を造つてお國のお役に立つて下さい

といふ或る部隊長の一少女の慰問文への返事によせた一緻を見ても將兵が銃後を如何に見てゐるかが知れる、これに反して實際に銃後の人々は一緻將兵の心を心としてゐるだらうかといふことに想到するとき、われ／＼は兵隊さんに申譯ないといふ氣持が湧くのだ

南太平洋血戰

重圍下の樹上生活 決死觀測斥候の殊勳

【南方〇〇基地十三日同盟】瘴煙毒霧天險の魔島に血戰半歳、寡兵ながらも神兵魂の進擊に米濠の大軍を最後たる孤島に釘付けして空しくなすところなからしめ、嚴知れぬわが將兵の勇武忠烈に敵將兵を戰慄と恐怖のどん底に陥れた南太平洋戰において、スコールに叩かれ、蟻ひかかる毒蛇、蚊虫と闘ひながら敵陣地至近のジャングル内で十數日、しかも敵の眞上下に三日三晩の樹上生活を頑張り抜き、友軍の作戰を有利に導いた觀測斥候の逞しい氣魄が殊勳談がある

（觀測斥候長）として安野見習士官以下ガダルカナル〇〇側飛行場附近の敵狀探索の命をうけた星野中尉は數名の部下を指揮して敵の背後を迂回し、嶮峻を攀ぢ深谷を縫ひつゝ熾烈な敵防禦陣地の反撃を強行突破して、不眠不休で先行し、進發後三日目の〇月〇〇日未明、敵飛行場を眼下に見下す敵前〇〇〇メートルの至近距離に達した

ジャングルから抜け出して小高い丘からそつと首をつき出すと多數の敵機が木立の間に機首をはみ出してゐるのがはつきりと見えた、エア・コブラ、ロッキード、ボーイング、マーチン、ノースアメリカンなど戰爆とりどりの敵機がぶざまにずらりと七八十機ばかりも並んでゐる、わが荒鷲の好餌となり醜い殘骸を野天に晒したグラマン戰鬪機らしいものも二、三機轉がつてゐた、敵はまだ深い眠りについてゐるらしく監視兵らしきものが突立つてゐるほかは敵兵一人も姿もみせない、星野中尉は直ちに飛行場の見取圖から距離測定までを詳細にしたため部下に托して本隊に急報した

（三日目の夜）七時ごろだつた、突然殷々たる砲聲が一齊に鳴り響いたと思つた瞬間、敵飛行場に火の手が上つた、見る間にジャングルに火がつきめら／＼と燃え擴がつた、火の手はさらに敵機をなめて赤々と夜空を焦してゐるではないか

『しめたツ』星野中尉は思はず萬歳を絶叫した、自分の送つた報告に接した〇〇本隊が一齊に砲門を開いたのだ、まさに一分の狂ひもない的確な彈丸で次から次へわが砲擊は敵飛行場を破壞して行く、今まで傲然を恣にしてゐたボーイングもグラマンも見る間に火を吹いて跡形もない、出擊を叩かれて仰天した敵兵が蜘蛛の子を散らすやうに右往左往に逃げ惑つてゐるほかに燒け殘りの僅か五六機が飛行場の片隅の木立に殘骸を晒してゐるだけだつた

（星野中尉等）はさらにこの後輪總陣をなす敵縱深陣地深く偵察の足を伸ばしたのだつた、行くほどにジャングルは深く、途中名も知らぬ毒虫や猛毒蛇の襲擊に何回となくあつたが苦勞は酬いられて夜明けとゝもに敵砲兵陣地を發見した

眼前僅か五百メートル、路上つた岩山の陰からそつと首を覗かせてゐる堅固な敵砲兵陣地が手にとるやうに見える、頭上に聳えてゐる椰子の木にロープで攀ぢ上つてなほよく眺めると何んと殺十門といふ放列がわが陣地の方を窺つてゐるではないか、中尉は早速本隊に連絡をつけ、かくてわが本隊の砲門がまた一齊に唸り出し敵砲門を片つ端から沈默させて行つたのだ

あまりにも的確なわが砲兵陣地といひあまりにも的確なわが砲擊に敵は漸く疑ひを抱きはじめた敵は翌日から少しでも不安な箇所には盛んに山砲、追擊砲を浴びせて來ると同時に

（捜索隊を繰）出しはじめた、見つかつては一大事と星野中尉ら五名の勇士は素早く樹上に攀ぢ上り息を殺してゐたが、運惡く敵は前方僅か二、三十メートルの所に停止したまゝじつと動かず八方に兵隊を出して探し廻つてゐる、星野中尉がじつと樹上で敵の行動を見守つてゐると敵兵の一人が吸ひ捨てた煙草の吸殼を叢の中から發見して報告のため急いで駈け去つて行く

『萬事窮す』

こゝで俘虜になるより潔く敵前で腹かききつて果てようと思つたが『死ぬのはいつでも死ねる』最後まで頑張らうと決意した中尉は部下に合圖して樹上に體を縛りつけ息を殺して敵を窺ふと敵百名ばかりが木の廻りにやつて來て盛んにわいわいと騷ぎはじめた

やがて四方八方を探し廻るが、幸ひにも發見されない、それでも斷念出來ないのか

（敵は執拗に）も木の附近にテントを張つてしまつた、身動き一つしたら敵に判つてしまふ、かうなつたら腹はすいても食物とてあらうはずがなく、木の葉を噛んでは飢をまぎらせる、無數の大きな蟻群が所嫌はず體に食ひ込んで來る、かうした樹上の根比べが三日三晩續いた四日目敵は到頭斷念して引揚げてしまつた

苦しい樹上の生活がはじまつてからは大小便も木から垂れ流す、スコールが來て寒さは加はる、ジャングルの觀測斥候の惡戰苦鬪實に廿日かくして觀測斥候の大任を無事果し終せた星野中尉など五名の勇士たちは意氣揚々として引揚げたのだつた

大いなる祭【68】

中野實（作）　三芳悌吉（繪）

愛と彈丸と（二）

『よかつたわ』

日本人の經營してゐる太平路の大和食堂の別室へ入ると、美々はほつと胸を撫でおろしたやうにいつた。

『いつたい』

と梅はなほどこかに心を許さない嚴しさを見せて、

『これはどうしたといふんだ。まさか、お芝居をやつてゐるんぢやあないだらうね』

『お芝居ですつて？』

『陶々居にやつて來たのを僕に見つけられたもんだから、それを誤魔化すために、今みたいな芝居をやつたのぢやあなからうね。一旦助けたと見せかけて、都合のところで睡らせるといふ手もあるんだからな』

『さう思ふなら、さう思つてもいゝわ』

美々はやるせなげな微笑をたたへて、

『あたしはたうとう……』

と云ひかけてちらと梅に視線を走らせたが、梅の視線とぱつたり合ふと、あわてゝ顏をそむけながら、

『味方を裏切つたわ。でもいいの。あなたとは敵味方だけれど、愛群ホテルで逃がして貰つたお禮はこれで返したんだから』

と呟くやうに云つた。

『ぢやあ、君は、僕が陶々居にゐることを知つて來たのか』

『無論、さうよ』

『どうして知つた？』

『張から聞いたの』

『張から……』

梅はたゝみかけるやうに、

『張がどうしてそれを知つてゐる』

『それが』

と美々は梅の顏を喰ひ入るやうに見つめながら、

『今朝張がやつて來て、いきなり私に梅時英さん、あなたたちの歡樂場所が判つたといふんですわ。そして、私にこんな手帖を裂いた紙片を見せてくれたんです』

『手帖を裂いた……』

思はず大きな聲で梅は鸚鵡返しにこたへ、潰された例の紙片を見ると、血相を變へて、

『どこで、どこでこれを手に入れた……』

『それを張は私にもうち明けてくれないんです』

『ふうむ』

梅は目を一點に凝らしたまゝ唸つた。

『この紙片に覺えがあるのですか』

『あるとも、僕が書いたのだ』

金井は失敗したのだ。安否が氣づかはれる——。

『美々、判つた。君が芝居でなく僕を助けてくれたことは判つた。ぢやあ、張は僕を狙つて陶々居へやつて來てゐるんだね』

『えゝ、さうよ』

『よし』

と梅は決然と椅子から起ち上つた。

『何處へ行くんです』

『何處でもいゝ』

『待つて下さい。あなたの行くところは知つてゐます。いけません。陶々居へ行つてはいけない。行つてはいけない』

美々は梅の手に縋つて迸るやうな情熱を眼に罩めながら哀願するやうに云つた。

『あたしは、あなたを、殺したくない……』

新刊紹介

▲朗（二月號、七十錢、東京、四谷新宿二ノ、日本體道出版部）▲商工俱樂部（九卷、一號）▲朝鮮鐵道協會誌（二十二卷、一號）▲協和（十七卷、二號）▲農業と經濟（十卷一號）▲朝鮮鑛業（十卷一號）▲內觀（二七五號）▲短歌研究（二月號）▲專大經濟新聞（二百二十號）▲國際經濟週報（千百九十三號）▲良國民（二月號）

ラジオ　15日

朝 七・〇〇『シンガポール陥落の感激』陸軍中尉 佐藤滿雄、陸軍少尉 乾紅▲九・〇〇『副食物と調味料について』『乏しいものを生かす工夫（一）』滿島右吾示▲九・三〇朝禮 訓話（錄音）『シンガポール陥落記念日に當りて』陸軍中將 鈴木宗作▲九・四〇『攫取の據點から共榮の大南洋へ』（鮮語）普成專教授 玉崗猶珍▲一〇・〇〇『スヽメヒノマル』富士見コドモ會▲一一・〇〇一年生の時間—オ話『ベンザイ』小川一郎

晝 〇・三〇 吹奏樂 行進曲『牙城陥落』他四曲 星櫻吹奏樂團▲一・〇〇朗讀『恩田木工の日暮し硯』▲二・〇〇學校新聞 鮮語▲二・三〇朗讀（鮮語）『アメリカ敗る〻日』伊東啓▲四・〇〇教師の時間『決戰體制下に於ける教育者の決意』學務局學務課長 本多武夫▲四・三〇兵役讀本（鮮語）麻田紀正

夜 六・〇〇シンブン2うたと錄音『日の丸の輝く昭南』東京市大和田國民學校兒童▲六・三〇『綿の增産』總督府農事試驗場技師 工藤壯六▲七・三〇『更生の昭南島』陸軍少佐 岡崎弘十郎▲七・五〇ベルリンよりドイツ通信▲八・〇〇昭南より2詩劇『昭南島』京城放送專屬劇團▲九・〇〇（鮮語）放送劇『ブキテマ高地』青山伸伍、山本邦夫ほか▲九・〇〇 2洋琴獨奏（音盤）軍歌集▲九・四五初歩國語講座